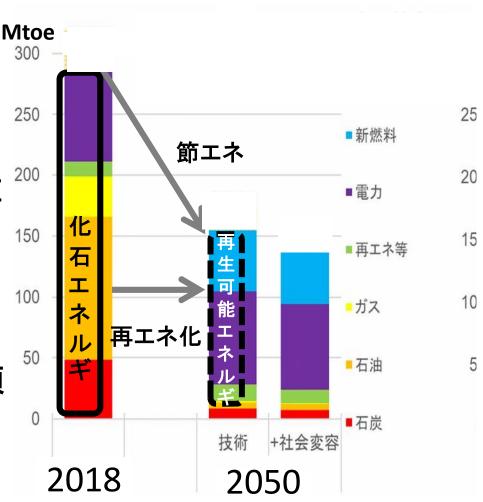


## 脱炭素転換の道筋

## 日本のエネルギー消費転換試算

- ・排出している限り 温度は上昇し続ける
- ・すでに1.2℃上昇 2030-52年 に1.5℃へ
- 一旦上がったら下げるのは困難
- ・2050年ゼロエミに向かう世界 削減手立ての骨子
  - ・消費側の節エネ(半分程度) +供給側の再エネ利用 必須
- ・とまるわけにはゆかない一本道



## 脱炭素社会づくりへの市民の多様な役割

政治を変える。

エネルギー関連意思決定プロセスに参加、民意を届け、政治家を選び監視

省エネ減税や補助金 利用・税が低炭素社 会づくりに的確に使 われるよう意思表明、 監視

納税者

市民·

生活者

生活者

投資家

生産者

消費者

購入者

有権者

教育者

地域住民

防災者

自家発電、クリーン電力・市民発電・低炭素社会づくり指向ビジネス等への投資



身の回りの地域 社会での取組 に参加、市民 発電、緑化/防 災都市づくり等

> 温暖化の被 害に適応する (健康・災害・ 生命)

防災に対

健康

地域

を変

える

将来世代を変える

家族や地域 に持続可能 社会の在り 方を教える。 アウトドア生 活・環境教

育教育等

日常生活での省エネ・ 低炭素に向けて行動する。選択不要なモノを見 分け、長期効率的に消 費する。菜食。食品ロス をなくす。公共交通利用 企業で省エネ・低 炭素エネ技術の開発・生産・販売を 進める。低炭素の 商品・サービスを マーケットで支える。

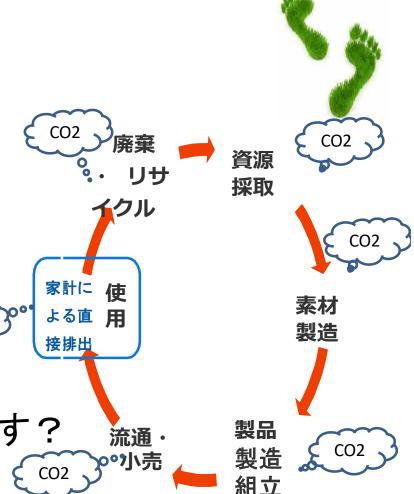
グリーン電力購入、ゼロエミッション住宅、地産地消品等を選択シェアリング・リサイクル利用等。



## カーボンフットプリント



家計が購入する製品やサービスの製造・流通・廃棄等、サプライチェーンにおける間接排出を含めたライフサイクルにおける温室効果ガス排出量



電力・自動車・ペットボトル・・

一生のどこでどれだけCO2を出す?